

# ダイヤモンドは何かですか？

## ダイヤモンド道

—EAVのドクター・フォルと  
意識指数のデヴィッド・R・ホーキングズ博士に  
敬意を表して—

田村(・タカ)熾たるひろ  
(本名・富保)



サイババの言葉がヒントになって閃いた！  
ダイヤモンドと共に生きながら心を磨く  
神道でもなく  
仏教でもなく  
いかなる宗教でもない……ダイヤモンド道

新しい元号が「令和」と決まり、97号は令和第一号の季刊誌となりました。季刊誌の第一号発刊は、平成7年（1995年）6月9日号。2019 - 1995 = 24年間に亘り年四回、発行してきました。エイトスターが存続している限り、続けていきますので、応援をお願いいたします。

さて、新元号には、それぞれに感じたことがあったでしょう。私は、二人の女性がいきなり脳裏に来ました。れい子に玲子。奇しくも、妻だった二人が音読み、れいこでした。

その時に私が感じたことをメルマガに書いていました。ここで再現です。

メルマガ読者が現在5000名。季刊誌発送数は1万人以上。季刊誌を読まれている方のほうが多いのでね……。

「昨日、平成の後の元号が、令和(れいわ)」と発表されました。

瞬間、れい……わ?! と、

吾が人生を共にした二人の女性の名前の音霊だ、と思いました。

しかも、二人目の名は、王編付きの玲。

音霊“れい”が来ている、と思いました。

れいと和する。もう遅いよ。

三人目の女性が現れて、また音霊では、れい……、の暗示???

なんて感じていた所に、安倍首相の説明では、

「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。

梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように……」  
との想いだとの発表。

昭和の後の平成発表に続いての人生二度目、

たった二度目の元号発表ではありましたが……、

正直な所、今回は、違和感を強く感じた元号ではありました。

100歳の時に、令和22年。120歳は、令和42年。

新天皇には、長生きをしてほしいが、吾が人生は、どこまで行くか……、なんて120歳まで生きよう、と言っている本人がこんなこと言ってはいけません。

令和42年まで、魂磨きをつづける覚悟でいきます。

まだ120までには、42年。磨けますね。

そう考えると、今年に入ってから心臓の再生手術は、有り難きこと、と余計に強く感じるようになりました。左右両方の心臓弁膜症では、もたなかった。

1月16日の手術から、「回復には三ヶ月は掛かるでしょう」、と退院の時に医師に言われたことが蘇ります。丁度、三ヶ月目の4月。実は、4月の始まる3月後半。24日の大阪出張あたりから自覚出来ていた体調の回復でした。

その後、ますます回復しております。ご心配をお掛けいたしました。もう大丈夫です。有り難う御座いました。

ただ最近発覚したのは、栄養失調。EAVオール50の物にこだわり過ぎて栄養のバランスは考えたことがありませんでした。EAV50に栄養満点の食探しが

新しい目標ですが、とりあえず、サプリを買ってきました。ビタミン・ミネラルの総合サプリ。

栄養バランスの良い食を探すのは、難しいので、サプリにしたと言うわけです。次から次へと人生の学びですね。 - 4月2日メルマガより

77歳を迎えた昨年の2月頃から、トラブルが起こり始めました。

3月初めに横断歩道でつまずいて転び、右肩に小さな骨折三ヶ所。6月には、腰痛で2週間入院。退院後治ったはずの腰痛が直に再発。激痛に耐えてはいたものの、日常生活は儘ならず。7月、友人の紹介で行った順天堂病院に一ヶ月の入院となりました。

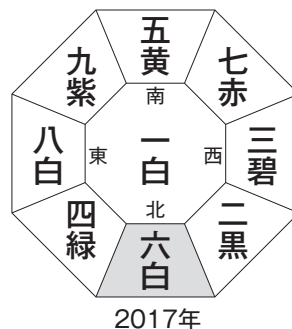
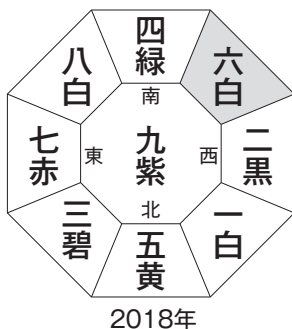
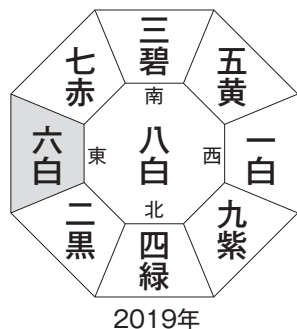
原因は、何と細菌性腰痛。腰に菌からの細菌が住みついて炎症を起こしていた。そんなあ…細菌、とびっくりですが、ある医師によれば「ほとんどの病気の原因は細菌かウイルス」なんだそうです。そして77歳の最後の月、今年1月16日には、心臓弁膜症の手術。

77歳、一体気学では、どんな年だったのでしょう。最近は、気学にこだわりなく生活していたので、お願いしたら、吾が師・高橋秀齊<sup>ひてだ</sup>先生が3月21日に、メモを届けてくださいました。私の去年の気学上での方位では、六白金星は、南西に位置していました。一昨年は北に位置。北は健康に気を付ける方位。今年、四緑の人が位置しています。同じことが起こることに注意する方位。

「一昨年（2017年）、どれ程に素直に自分を、有りの俣を籠りながら自省し、ウォーミングアップをしたか。悪魔の囁きに、良い気にならなかったかを、引き継いでの、ひたすらに努力するべき年でした。無からの積み重ねが、どれほど大切か。何事も、階段の一步に足を掛けるべき年でした。前年からの厄を払うことから始まります。色々と後回しにしてきたことは、如何に頭を垂れて身を低くしていなければ、気づきません。慢心は、大きな気づきの為に、代償を求められます。こんな所でしょうか。何事も、早分かりは、ないので。」

こう指導されても、自分ではやっているつもりだったから、“やってたけどなあ……”なんです。

## 六白金星の年盤



今年2019年の私は、東に位置しています。太陽の<sup>あ</sup>上がる方位。明るくなります。開けます。東の特長です。しかし良いことだけではありません。隠し事があれば、明かされます。陰の極、北にあった一昨年。その時のことを先生が仰っている文章ならば、去年一年はケガや腰痛や歯の問題など起ったから、納得するしかありません。

元々基本的には、

「素直に、有りの俣の自分でいながら、かつ自省し」生きてきたし、基本的に自分では、悪魔の囁きに良い気になったつもりはなかったし、常にひたすら努力して生きているつもりです。でも、書いた通りのことが起こったのだから、先生の仰ることを学びにしなければなりません。

今年、わが身は東に位置して、先に書いた通り、陽の<sup>よう</sup>当たる一年です。そんな年の5月に新元号が始まります。

すべてに偶然が無いとするならば、明日への希望を咲かせる祈りを秘めた元号「令和」の幕明け、そして、東の空に上る太陽は<sup>のぼ</sup>あらゆる生命を照らし育む源。そこに位置する私の運気は新たな旅立ちを示唆するものかもしれない。120歳に向かう道のりを照らす明りを信じて歩みたい、と新たな気持ちになっています。

エイトスター・ダイヤモンドを誕生させてから今も尚、そして未来へと変わることのない真実は、「エイトスターの明り（光）は、人々を守り導いている」ことだと確信しています。皆さんと一緒に光の道を共に歩みましょう。

☆高橋秀齊先生の著書『私暦』は九星に則り、毎年1冊ずつ発行しています。本年は己亥の年。この年のそれぞれの運気を解説した内容の本です。ご希望の方はショールームにて販売しております。『私暦』1900円（税込・送料別）